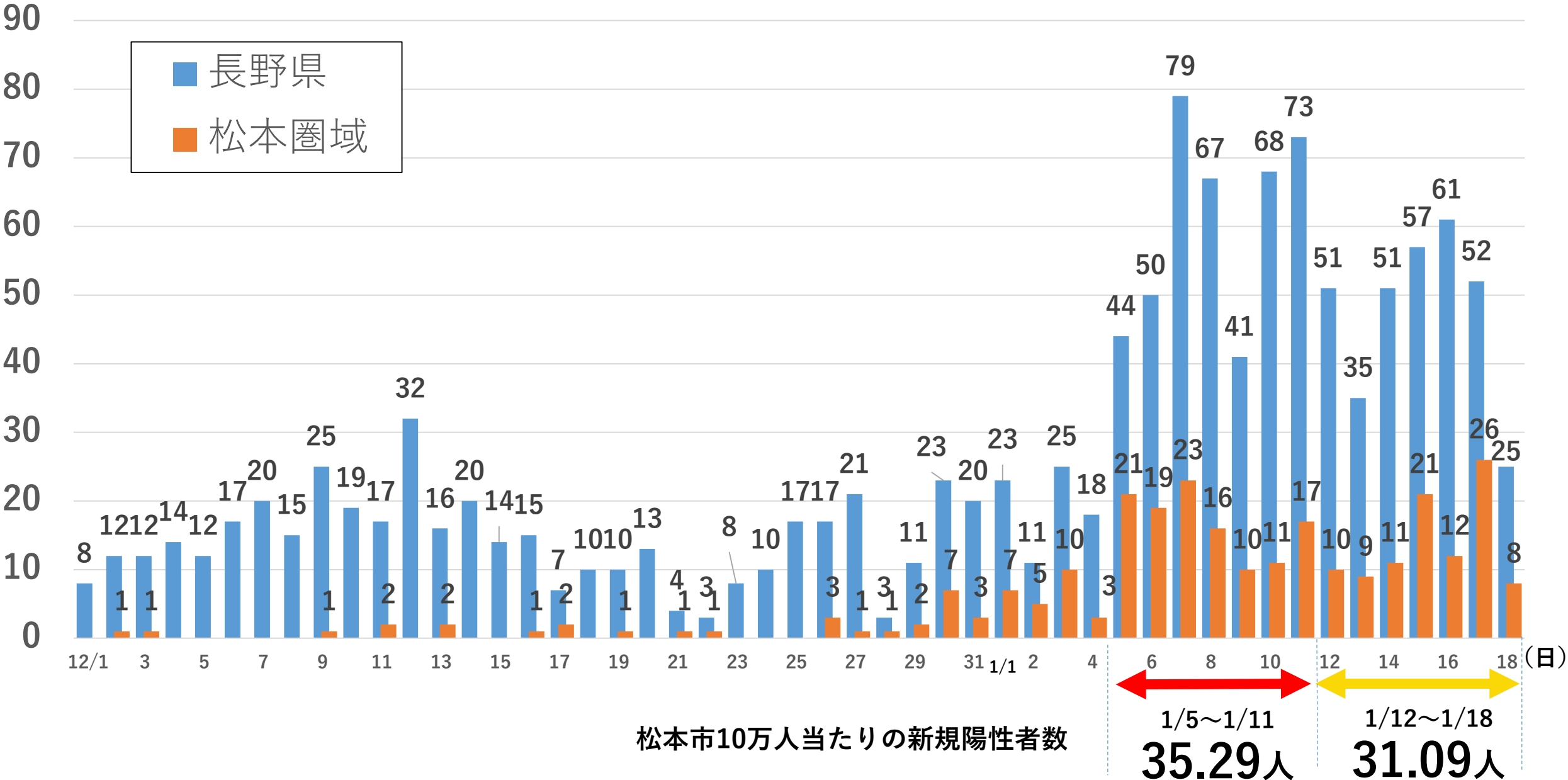


(人)

県内の感染者と松本圏域の感染者の推移（12月1日以降）

市長記者会見資料
3.1.19
健康づくり課



松本圏域における新型コロナウイルス感染症受入可能病床

市長記者会見資料
3. 1. 19
医務課

1月12日

市立病院	25床 (陽性者21、疑似症4)
相澤病院	6床 (一般、透析)
安曇野赤十字病院	4床 (軽症)
松本協立病院	3床 (軽症)
まつもと医療センター	15床 (軽症以上)
信州大学附属病院	(中等症以上)
県立こども病院	2床 (小児重症者のみ)

中信地区宿泊療養施設	100室
------------	------



1月18日現在

37床 (陽性者、疑似症)
43床 (重症3、中等症15、疑似症25) ※透析含む
4床 (軽症)
3床 (軽症)
15床 (軽症以上)
(中等症以上)
2床 (小児重症者のみ)

100室

一人ひとりが 自ら感染しない行動を

～相手に感染させないためには、自分が感染しないこと～

本田孝行教授／信州大学医学部附属病院 感染制御室長

3つの感染経路



飛沫感染



接触感染



エアロゾル感染

感染しないために



人との距離を
2メートル以上あける



手で口や鼻を触らない



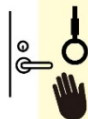
定期的に換気する

日常生活でのポイント



- ・建物内ではマスクをする
- ・屋外では、2メートルの距離が取れないときにマスクをする

※距離が取れる場合はマスクを外しても大丈夫



- ・触る前に、手洗い
または手指の消毒
を徹底する
- ・帰宅時に、すぐに
手洗い



- ・密閉された空間に行かない
※行かなければならない場合は、
換気をこまめに



感染した人に対する誹謗・中傷や、差別的な言動は慎みましょう。

行政のデジタル化プロジェクトについて

1 趣旨

市民サービスの向上に資する行政のデジタル化に、スピード感をもって取り組むため、若手職員によるプロジェクトを組織することについて報告するものです。

2 プロジェクトの概要

(1) プロデューサー

宮之本副市長

(2) 構成員

7名程度

(3) 活動内容

ア グループワークを通じて、「簡単・便利」で、「満足できる」市民サービスに寄与できるデジタル行政サービスを企画します。

(例) 書かせない窓口、申請手続きの電子化、オープンデータの活用など

イ 費用対効果を考慮して企画選考を行います。

ウ 構成員が企画の更なる磨きあげ、情報政策課で予算化を調整します。

エ 構成員自身の手により、サービスの導入まで実行します。

(4) 活動期間

令和3年2月～令和4年3月末

(5) 会議等の開催方法

勤務時間内の会議とし、集合会議のほかWeb会議による参加も可能とします。

(6) 事務局

総務部情報政策課ICT推進担当

3 構成員の公募

意欲のある30歳（令和3年4月1日現在）以下の正規職員を庁内から公募します。

(1) 公募期間

令和3年1月20日～2月5日

(2) 応募方法

ながの電子申請システムで、必要事項を記載の上、申請

4 今後の予定

3. 1. 20 メンバーの公募（2月5日まで）

2. 15 第1回会議（オリエンテーション）を開催

以降、グループワークを重ね、企画書（案）を作成

6 一次レビュー（企画選考）

以降、選考された企画を磨きあげつつ、予算化を調整し導入まで実施